

金子みゆ

以前から学校を通して支援を続けてきて、いつか絶対行ってみたいと思っていた国、カンボジアに行く機会をいただき、今回、3月9日から一週間、シムリアップに行ってきました。何かを感じ、行動を起こすきっかけになったらいいなと思いながら、日本を出発しました。

想像以上に、カンボジアの子供たちの笑顔はキラキラして眩しかったです。私たちは村の公立の小学校で授業をするボランティアです。自分なりに授業をすることができた経験は私にとってとても刺激的であり、逆に子供達から学ぶことも多かったです。次回行くときまでにはよりスキルアップした授業を考えていけたらいいなと思いました。VIDESのボランティアは何かを建てたり、作ったりする目に見えるボランティアではありませんが、VIDESを通しての人との関わり、愛のある関わりはボランティアの根底にある大切なことだということを強く感じました。

これからも経験をを通してたくさんを知り、自分の視野を広げて行きたいなと思います。VIDESを通して良い経験ができたことに感謝でいっぱいです。

山本麟太郎

山本麟太郎

私は今回のカンボジアスタディツアーが二回目のカンボジアへの渡航だった。一度目は旅行会社の企画で渡ったカンボジアであったが、それと大きく違ったことは、現地の子供たちとたくさん触れる機会があったことだ。今回は実際に子供たちが通う学校に赴き、言葉が伝わらない中で授業を行い、現地の子供たちとより近い環境の中で生活することができた。本やテレビで見るとは違って、実際に私の目で見て肌で感じる事ができた。一番感じたことは現地の子供たちは元気に、活力にあふれていたことだ。教える側の私たちが現地の



子供たちと時を同じくしてふれあい、そこから共感し勉強をしていくという教育の一番根本的な部分を体験することができた。私が現地の学校で行ったのは折り紙や塗り絵といった図工の授業です。現地の子供たちと一緒に授業を行えたことはとても貴重でした。このような経験は大人になるにつれて軽視されがちで、また今の日本ではあまり重要視されていないように感じる。そんな意味も含めてカンボジアのスタディツアーは日本では体験できない、唯一無二の経験をする事ができたと思います。

玉川和奏

去年に引き続き、今年もスタディツアーに参加させていただきました。1回目の参加は、ボランティアを通して人の助けがしたいというよりもカンボジアに行ってみようという気持ちからでした。

私は、東南アジアの国々をいつかは全て行ってみたいなと思っており、その中の1つとしてカンボジアがありました。カンボジアに行ってみよう!の一心で参加し、今では大学でカンボジア史を専門範囲として勉強するほど深くかかわるようになりました。今回2回目は、1回目にカンボジアで学んだものを生かしてみたい!と思い参加しました。ポー村小学校やBICCでは、去年やって良かった事や実際に行き現状を見なければわからなかった事などを盛り込んだ授業を行いました。例えば、ポー村小学校でのポイ捨てはいけない!と教える授業は1回目に小学校を見て感じた事を存分に生かした授業だったと思います。なぜこんなにカンボジアに魅了されてしまったのか私自身わかりません。しかし、スタディツアーへの参加がその始まりである事は確かなことです。私は、これからスタディツアー以外でもカンボジアの為に手助けができたと思っています。



2017年6月 サレジオ祭 静岡VIDES出店



本年度のサレジオ祭では「かごづくり」に加えて「万華鏡作り」をして、販売いたしました。



筒を回すたびに
違ったキラキラと輝く
幻想的な世界を見せてくれる万華鏡☆
子ども達は、
自分で作った万華鏡をのぞきながら
「わぁーきれい!」と
歓声をあげていました。



多くの
子どもたちが、
万華鏡作りに挑戦し、
大盛況でした。



静岡VIDESのメンバーは、子ども達を見守り、「かご」や「万華鏡」の製作のお手伝いをし、子ども達の笑顔がたくさん観ることができました。メンバーの誰もが、自主的(主体的)に連帯性をもって活動できたことを、誇りに思っています。今後も、このボランティアの心を大切に、精進して参ります。

